田村　英昭さん　機械工学科　1970 年卒業



◆　経　歴

1970年3月　武蔵工業大学機械工学科卒業
　　研究室は熱工学2（Heat Transfer）
1970年4月　日産自動車株式会社入社、横浜工場・機関技術課、部品検査課
　　（主な事業内容：エンジン製造技術、品質保証）
1981年10月　メキシコ日産出向、アグアスカリエンテス工場、検査部長
～1984年10月　（主な事業内容：エンジン製造、AL 鋳造、ボデイプレス）
1984年10月　日産自動車（株）横浜工場、組み立て検査課
　　（主な事業内容：エンジン品質保証）
1986年4月　日産自動車（株）横浜工場、製造課長
　　（主な事業内容：エンジン部品機械加工）
1989年4月　日産自動車（株）横浜工場、技術課長
　　（主な事業内容：エンジン生産技術、エンジン製造設備保全）
1991年1月　日産自動車（株）横浜工場、工務部次長
　　（主な事業内容：エンジン製造技術、年度設備計画）
1992年1月　日産自動車（株）本社　第一技術部　主管
　　（主な事業内容：設備計画、商品計画予算管理、
　　生産拠点・工場・工順の検討）
1996年1月　日産自動車（株）技術開発センター　部長
　　（主な事業内容：生産技術戦略立案及び先行技術開発）
1998年1月　日産自動車（株）計測技術センター　部長兼務
　　（主な事業内容：上記に加え計測技術戦略立案、
　　計測技術開発）
1999年7月　日産自動車（株）パワートレイン事業本部　副本部長
　　（主な事業内容：パワートレイン（注 1）の開発、設計、実験、
　　製造、販売）
2000年4月　ボルグワーナー・モールステック・ジャパン（株）代表取締役社長
　　（主な事業内容：サイレントチェーン（注 2）の開発、設計、実験、
　　製造、販売）
　　現在、ボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン株式会社
2006年4月　ボルグワーナーエミッションシステムズ・ジャパン　社長
　　（主な事業内容：ターボチャージャー、エミッション部品の
　　市場開拓）
2008年2月　ボルグワーナー・ドライブトレイン・システムズ・ジャパン　営業代表
　　（主な事業内容：ドユアル・クラッチ・トランスミッション市場開拓
2012年9月　神明電機株式会社　代表取締役社長
　　（主な事業内容：スイッチ、ソレノイド、リレーの開発、設計、実験、
　　製造、販売）
　　本社：川崎
　　工場：中国・上海（上海神明電機）及び太倉（太倉神明電機）
2015年12月　神明電機株式会社　退社

（注 1）エンジン、トランスミッション、アクスル、デファレンシャル等車が走行するのに
　　必要な装置の総称
（注 2）インボリュート歯型を使用した静粛な動力伝達機構

◆　本人コメント

私は、武蔵工業大学・機械工学科に入学いたしました。一年の時にグリークラブに入部し、パートはバリトンでした。昼休みと放課後は毎日練習でした。学園祭での発表、虎の門ホールでの定期演奏会、厚生年金会館小ホールでの 5 工大合同演奏会（武蔵工大、東京工大、芝浦工大、工学院、東京電機大学）を経験しました。二年の時にのどを痛めて退部し英会話研究会（ESS）に入部しました。ただし今でもグリークラブOBで作るオーク合唱団の賛助会員であります。ESSでは他校とのミーテング、スピーチコンテスト、デイベートコンテストを経験し、夏合宿では関西へ出かけ大阪工業大学、大阪市立大学等とミーテングを持ちました。ミーテングの終わりには必ず校歌交換を行いグリー出身の小生が指揮をしていました。4 年では熱工学2（熱伝導）を研究テーマに選びました。（教授は古浜庄一先生、担当の先生は榎本謙二郎先生）

1970 年（昭和 45 年武蔵工大を卒業し、日産自動車株式会社へ就職）
現場実習から始まって、横浜工場へ配属、エンジンの製造技術から品質保証までを担当し、いろいろ多くのことを学びました。

1981 年 10 月メキシコ日産に出向し（メキシコ市から北へ500Kmのアグアスカリエンテス市；3 年間）、アグアスカリエンテス工場の立ち上げから、エンジン工場、アルミ鋳造工場、プレス工場を建設し生産を立ち上げると同時に品質保証を担当し、日本（日産工機）並びに米国日産製造への品質保証の責任を負いました。また、メキシコ現地部品開発を設計と一緒になって進めました。
部品開発では、ボカール；キャブレター、クレビテ；メタル、TF ビクトール；ガスケット類、シトラ：ハイテンションケーブル、アウトマグネット：オルタネーター、チャンピオン；スパークプラグ、厚木メヒカーナ；ウオーターポンプ、オイルポンプ　などなどです。

帰国してからは横浜工場、本社、テクニカルセンター、パワートレイン事業本部を経験し，2000 年にはボルグワーナー・モールステック・ジャパン（株）の代表取締役社長となりました。
取り組んできた仕事は山ほどありましたが、学ぶことが多かったです。また、ひるむことなく仕事には思いっきり取り組んできました。日産自動車・横浜工場・製造部の課長になったとき、上司から「絶対ひるむな」と言われたことは忘れませんでした。確かに係長も組長（今は、工長）もほとんどの方が私より年上でした。「ほうれんそう」の重要性も非常に役に立ちました。また、特に技術開発センター時代の先行技術開発では、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともありました。その際、振り返ることが非常に重要だということを痛いほど痛感させられました。うまくいっても、うまくいかなくなくても、なぜそうなったのか、何が問題だったのか、何が良かったのか、などなど、そこに次への取り組みへのヒントが見えてくるのです。しかもそれは、技術員の成長の糧になるのです。
1989 年にごま書房から刊行された「ほうれんそうが会社を強くする」は非常に参考になりました。また、サムエル・ウルマンの「青春」という詩には励まされました。
「ほうれんそうが会社を強くする」は、関西生産性本部が編集した「社長の書棚」という本に投稿してあるのでご興味のある方はご覧になさってください。確か 39 名の経営者の方が執筆しておられます。

今は、毎朝の散歩、ボケ防止に継続した語学の復讐（スペイン語）とスケッチを楽しんでいます。

最後に「人生至る所に青山あり」とは、「言い得て妙」

¡Viva!

◆ 写 真



（本人後列右から４人目少し背が高い）



昭和 41 年 12 月 4 日グリークラブ定期演奏会
（虎ノ門ホール：本人中列右から５人目）



昭和 42 年９月 ESS 合宿２大阪工業大学
（本人後列左から２人目少し背が高い）



昭和 42 年９月 ESS 合宿１大阪市立大学
（本人後列右から６人目少し背が高い）



大阪工業大学にて校歌交換（本人；指揮者）



昭和 44 年第 4 回 Debate Contest
この年武蔵工大 ESS 優勝（本人左写真後列左）



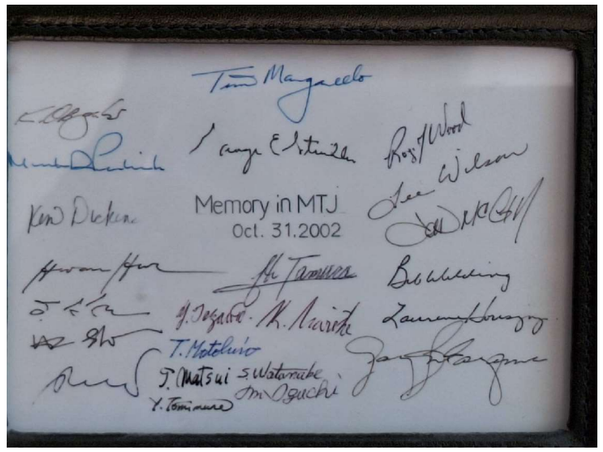
メキシコ日産アグアスカリエンテス工場の
検査部の仲間



アグアスカリエンテス工場検査部の仲間
（本人前列中央；ブルー半袖姿）



2000年4月ボルグワーナー・モールステック・
ジャパン株式会社へ
（本人２列目中央青の作業着姿）



同左寄せ書き
（本人のサイン；日付の直下）



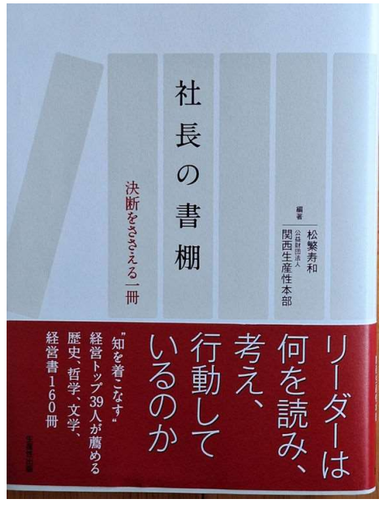
2004年3月13日 ボルグワーナー・モールステック・
ジャパン青山新工場(三重県名張市)開所式
（本人前列右から６人目）



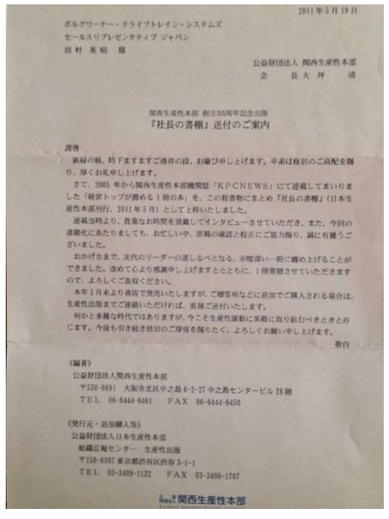
2006年ボルグワーナー・アジア・マネージメント・
フォーラム（中国にて）
（本人前列左)から７人目）



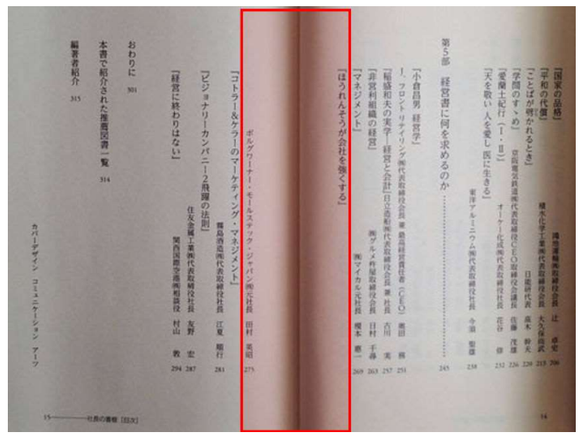
「ほうれんそうが・・・」-表紙



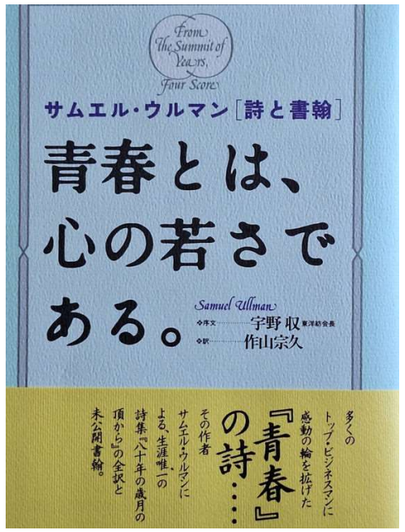
2011 年刊「社長の書棚」



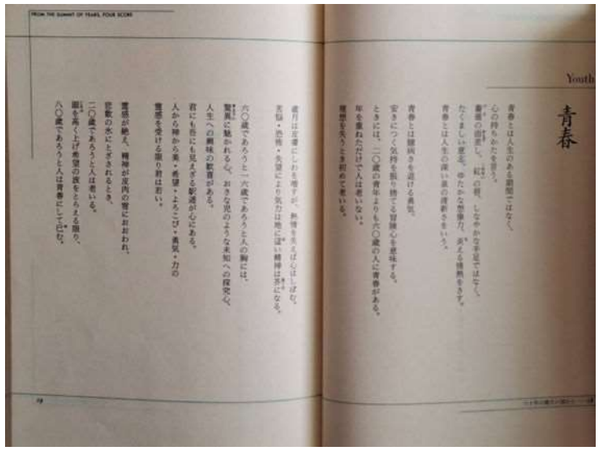
「社長の書棚」送付案内



「社長の書棚」目次抜粋



「青春とは・・・・・」表紙



サムエル・ウルマンの詩「青春」





2012 年 9 月神明電機株式会社へ



スケッチ 1「バラ」



スケッチ 2「ノーセンカズラ」



スケッチ 3「アジサイの小径」